

女性議会議事録 (令和4年8月11日開催)

質問者	発言者	発言内容
5 馬渡	馬渡友樹子	<p>1つめですが、市役所職員が広告塔になる取り組みについてお聞きします。以前お聞きしたことがあるのですが、自分の担当部署以外の業務については、最初の研修でおおむね知る機会はあるものの、それ以降は、各自の経験やその人のやる気によって情報を得ていくとのことでした。そこで、市役所職員が他部署の職員の動きを知る機会は、こういったものがあるのでしょうか。</p>
	総務部長	<p>市職員が他部署の行事や業務を知る機会として、イベント情報については市役所のグループウェアの掲示板により職場内の情報共有を行っています。また、重点施策や重点プロジェクトについては、毎週月曜日の朝に行っている政策会議の場で幹部職員間での情報共有を図るとともに、その内容を掲示板に載せ、また各所属長が持ち帰り、部内連絡会等で各課長へ、さらに各課長が各課員へという流れで正規職員、会計年度任用職員の別なく図っています。市役所業務については、福祉や税、教育、産業振興など、多岐にわたってしまして、職員にはそれぞれの専門性が求められている関係から、定期的な人事異動により経験を積んでいく中で知識の習得を図っています。特に新規学卒の採用者の場合は、基本、窓口職場への配置を行い、先ずは市民のみなさまの対応を学ぶとともに、内部研修や広域の研修に参加し、公務員としての基本を身に付けています。また、3年を目安に人事異動を実施することで、できる限り様々な業務を経験もしくは関わりを持っていただくように、人事担当としては育成面で配慮を行っています。</p>
	馬渡友樹子	<p>様々な情報を得る機会があるとのことでしたが、新しいものやイベントについては最新のものが共有されていると思いますが、普段やっておられることについては専門性といった点で把握するのは、なかなか難しいと考えます。全体的な底上げをすることによって、市役所全体の業務を広い目で見ていただけれると思うのですが、1つ私から提案がありまして、eラーニングのような情報技術を用いて行う学習方法を使って、各課がどのような業務に取り組んでいるか知ってもらう機会を作り、例えばクイズ形式にして毎日1問解いていく機会をイントラネットでできないか考えました。先ほどのイベントや単発もの、新しい施策は勿論のこと、市民の認知度を上げたい内容で、各担当課いろいろあると思うので、各担当課で機械的に問題を集めて、配信に手間をかけないような方法で、積極的に知識を入れていく機会を作ることができればいいと思いました。このような取り組みについてはいかがでしょうか。</p>
	総務部長	<p>市役所内でも最近では男女共同参画やSDGsのような研修では、対面での研修のほかにWebでの配信も行っており、一定期間の間に視聴していただくというような方法で案内をしています。いかせん研修というものは面白みのな</p>

女性議会議事録 (令和4年8月11日開催)

	馬渡友樹子	<p>い部分も多くあります。先ほどご提案いただきましたクイズ形式だとか、1日1問解いていくという方式であれば比較的取り組みやすいと思いますし、職員も楽しみながら解いていけるような形であると思われまので、できれば取り組んでみたいと思います。</p> <p>市役所の業務は多岐にわたるので、担当したことのない業務ですと知識が全くない方もおられるのかなと思いますが、知ろうとするかどうかで知識の蓄積量が大きくことなってくると思います。職員の方ももちろん、会計年度任用職員の方も、市の全体的な動きを知ろうとすることは必要であると思っています。市役所に努めておられる方はたくさんおられるので、その方々が知っていたら、他の市民と接したときに、こういうことがあるよというように周知することができれば、それだけしっかり市民に伝わっていく機会が増えると思います。市民に情報が伝わらないというように、周知に苦勞するというのも少しは聞きますので、まずは市職員に伝えることが大切ではないかなと思しました。</p> <p>また、先ほどのクイズのような形ができれば、全市民が市政に興味を持ってもらう取り組みとしてできれば面白いと思しました。例えばねっぴーpay と連携して、毎日1問クイズを解いたらポイントがたまるという形はどうでしょうか。携帯電話会社も毎日ポイントがたまる仕組みもあるので、そういった形でねっぴーpay とか健康アプリとかと連携して、市政について楽しみながら知って、ポイントもたまるというお得感もあるという形が取れば、市民の方も積極的に興味が出るかなと思しました。さらに、加西検定のようなことで、まとめのような機会があるとさらに面白いと思しました。</p> <p>今回、いろいろとご提案させていただきましたが、方法についてこれでないといけないというこだわりはないので、市役所職員を中心に市政にアンテナ高くしてもらい取り組みをぜひご検討いただけたらと思います。</p> <p>続いて、次の質問にまいります。庁舎の雰囲気づくりについてです。加西市役所を訪れた時の印象として、ちょっと暗いなという印象を感じています。建物の構造によるものが大きいと思うのですが、庁舎の雰囲気についてどのようにお考えでしょうか。</p>
	総務部長	<p>加西市役所は他の庁舎と比べて暗いというご意見はよくいただいていた。実際、構造上の問題もございすが、令和3年1月から2月にかけてですが、庁舎内の照明設備をLED化するに合わせて、エントランスホールや1階の窓口の照明を明るくするために、照明の増設を行いました。それによってエントランスホールでは、300ルクス程度だったものが、最大で475ルクスまで上がっております。一般的なビルのエントランスホールの基準が、200~500ルクスということから見れば、十分な照度を確保したものでございす。また、</p>

女性議会議事録 (令和4年8月11日開催)

		<p>以前は、照明は夕方もしくは夜間に点灯としていましたが、現在は市長からの指示もあり、常時点灯に変更しています。</p> <p>実際に替えた際は、きわめて明るいと感じたのですが、慣れということもあって、いつの間にかそんなにも明るく感じなくなったのが現実かもしれません。また、1階の窓口や待合い、市民ロビーにつきましては、3階まで吹き抜けという構造上の問題から、すぐ上に照明を配置できないということもございまして、他市の庁舎と比べると暗く感じられると思います。エントランスと同様、LED化に伴い、照明の増設等も行っており、必要な照度基準は確保しておりますが、画期的に明るくなったかという点、そんな風には感じないというものでございます。今後ともできる限り明るく感じてもらえるようにしたいと考えています。</p>
	馬渡友樹子	<p>既にいろいろと対策をされているということなのですが、入ってすぐのところは結構明るいと思うのですが、左右を見たときに暗く感じる印象があると感じています。近隣市がどんどん市役所を建て替える中、加西市はあと20年ぐらいこのままかなと思いますので、もう一声、対策をしていただければと思います。庁舎が暗いというのは、恐らく構造上で、なかなか変えられないと思うので、暗さを生かして、落ち着いた雰囲気にするのはどうでしょうか。例えば緑を取り入れて森林セラピーのようにするとか、ちょっと京都っぽいとか、町屋のように落ち着いた感じにするとか、ただ暗いというだけでなく、暗さを生かした雰囲気が出来たらすてきだなと思います。また、庁舎の雰囲気もそうですし、窓口対応なども含めて、よりよい庁内の雰囲気を作っていただけたらと思います。</p> <p>3つ目に移ります。育休中をキャリアアップの機会にする取り組みについてです。育休を取得された方の育休中の間の過ごし方について、基本的には個人の自由ですが、スキルアップやキャリアアップにつながるような働きかけや、育休中の方のネットワークづくりなど、職場としてのバックアップはあるのでしょうか。</p>
	総務部長	<p>ご質問にもありましたように、育児休業中は、せっかくの機会でもありますので、キャリアアップしたい方もあると思います。また、社会につながらないことへの不安をお持ちの方、せっかくの機会だから、今まで出来なかったことをやってみたいと思われる方、様々だという風に考えております。もちろん、育児で手いっぱい、それ以外のことを考える余裕がない方もあろうかと思えます。</p> <p>育児休業自体は、法に基づいた制度・権利でもありますので、育児者が強制的、あるいは負担と感ずることのないよう配慮しつつ、情報提供やスキルアップの方法等についての考え方、また仕組みづくりを考えていきたいと思えます。</p>

女性議会議事録 (令和4年8月11日開催)

	馬渡友樹子	<p>私自身は外に出たいタイプでしたが、そうでない方がおられるのも承知しております。やはり機会を作り提供していただく。それを選択する、しないはその方次第ということで、その方が育休復帰をされたときの仕事の仕方にも影響が出てくるのかなと思います。育休中の人に資格の勉強をなささいというのはプレッシャーかと思いますが、育休中にしかできない経験はこうものがあるよとか、子どもと一緒にあればこれができるのではないかなといった情報提供をしていただく。また、社会の空気感などというのも、出ていくことで肌を感じる事ができると思います。子どもを持つことで親目線の視点となり、働いているときと違った市民に近い目線というものが、育休中は得られていると思います。それでより客観的に物事を見ることができていると思います。そして、それを市政に伝えるという機会があればいいのかなと思います。育休中はブランクにするのではなく、キャリアアップの機会にするということで、復帰後、より活躍できる方が増えると思いますので、ぜひご検討いただきたいと思います。</p>
--	-------	--